

## 2020年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	小川 恭子
顕彰科目名	学習・言語心理学
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業（タイプ1・2のオンデマンド）で、以下の資料を毎回作成し提示しました。 C-learningの「教材倉庫」：レジュメ・Power Pointのスライドの音声付資料など C-learningの「アンケート」：選択問題，テーマにそった意見などの課題（提出物）</li> <li>・計画的に受講できるように、基本的に毎週、時間割通りに資料公開を開始し、音声付資料の視聴期限と課題の提出期限を設定しました。これらはポータルで通知しました。</li> <li>・音声付資料は一時停止や繰り返し再生などができるため、書き込み式のレジュメに書き込む、復習して理解を深めるなどの時間をとって勉強できるような分量・内容を心がけました。</li> <li>・音声付資料視聴の際に集中力を保つことができるように、1つのファイルの長さは短時間で区切り、毎回複数の資料を作成しました。</li> <li>・資料の文字サイズ，フォント，色などについて，UDフォントの使用や彩度・明度を低くするなど，多くの人が見やすいスライドを心がけましたが，まだ改善の余地があると考えています。</li> <li>・課題について，後の授業でフィードバック（問題の解説，意見の紹介など）を行いました。選択問題はおおむね『役に立った』と受講生の方々から感想をいただき、『復習になった』『理解しているか確認できた』という意見が多くみられました。</li> <li>・C-learningの「連絡・相談」の利用，毎回の「アンケート」に任意で書き込める自由記述欄を設定すること，メールアドレスの提示などで，やりとりできる環境を作りました。とはいえ，教室で声をかけられる環境とは異なり距離を感じることも多かったでしょうから，受講生の方々はよくがんばって，根気強く継続受講されたと思います。毎回熱心に意見をくださる方もあり，積極的な授業参加に感謝しています。</li> </ul> <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面式の授業でも，オンライン授業で使用したツールを取り入れて，積極的に活用していければと考えています。</li> <li>・選択問題の量をもっと多い方がよいという意見もありました。今後は状況を見ながらもう少し準備していければと思います。</li> </ul>	